

# 2023 年 1～9 月の米国 VC 投資動向

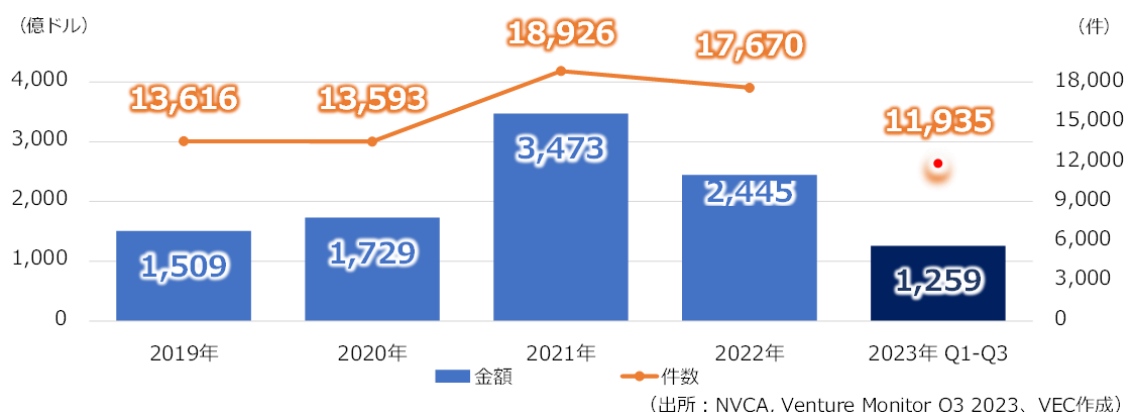
NVCA の Venture Monitor (Q3 2023) に基づき、米国の 2023 年 1～9 月の VC 投資動向を概観する。

## 1 VC 投資

### (1) 投資金額・投資件数：前年との比較で回復の足取りは重い

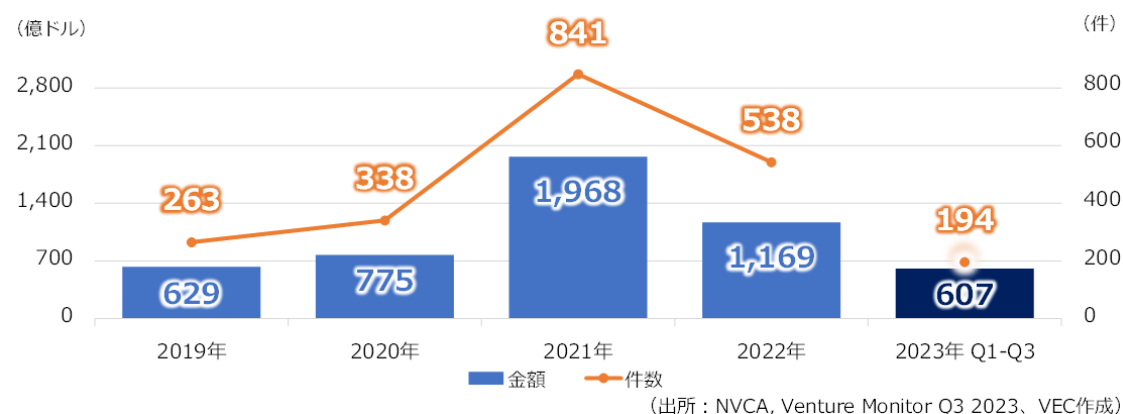
2023 年 1～9 月の米国の VC 投資金額は 1,259 億ドルで前年 1 年間の実績 (2,445 億ドル) の 51.5%、件数の 11,935 件も前年通年実績 (17,670 件) の 67.5%にとどまっている (図 1)。

図 1 VC 投資の推移 (金額・件数)



VC 投資回復の足取りの重さは、メガディール (1 億ドル以上の大型投資) の勢いの弱さと軌を一にしている。2023 年 1～9 月のメガディール投資金額は 607 億ドルと前年通年実績 (1,169 億ドル) の 51.9%にとどまり、件数の 194 件は前年実績 (538 件) のわずか 36.1%でしかない (図 2)。

図 2 メガディール取引の推移 (金額・件数)

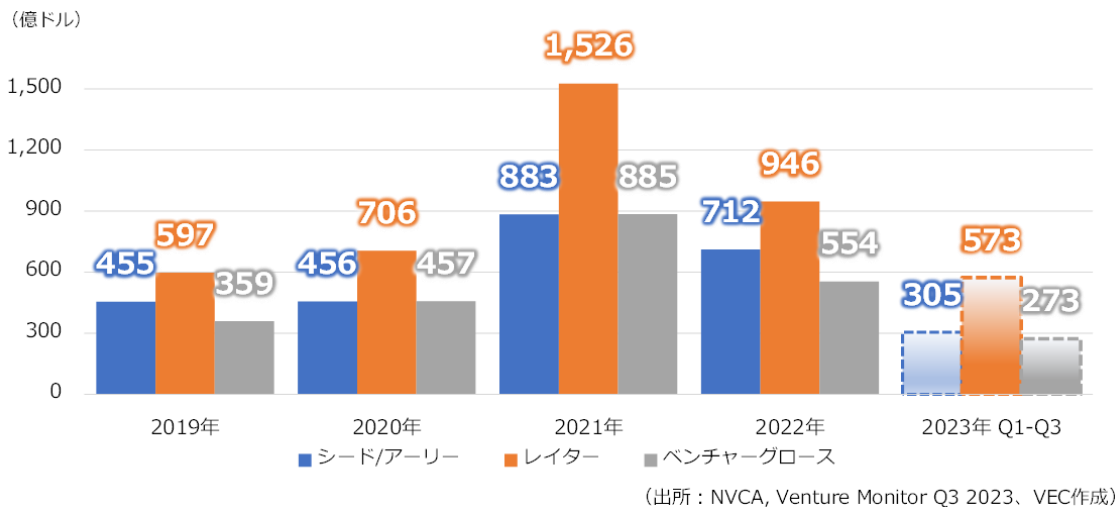


## (2) ステージ別投資：全ステージが前年比低調のなかで、「レイター」がやや健闘か

2023 年 1～9 月の米国 VC 投資金額をステージ別にみると、「シード/アーリー」は 305 億ドルと前年通年実績（712 億ドル）の 42.8%、「ベンチャーグロース」の 273 億ドルは前年実績（554 億ドル）比 49.3%と、ラップの 75%に対していずれも 50%以下にとどまっている。

これに対し、「レイター」の 573 億ドルは、前年実績（946 億ドル）比で 60.6%に達している（図 3）。その要因の一つとして、Venture Monitor は、生成 AI スタートアップの Anthropic 社向けの Amazon による 40 億ドルの大型投資を挙げている。

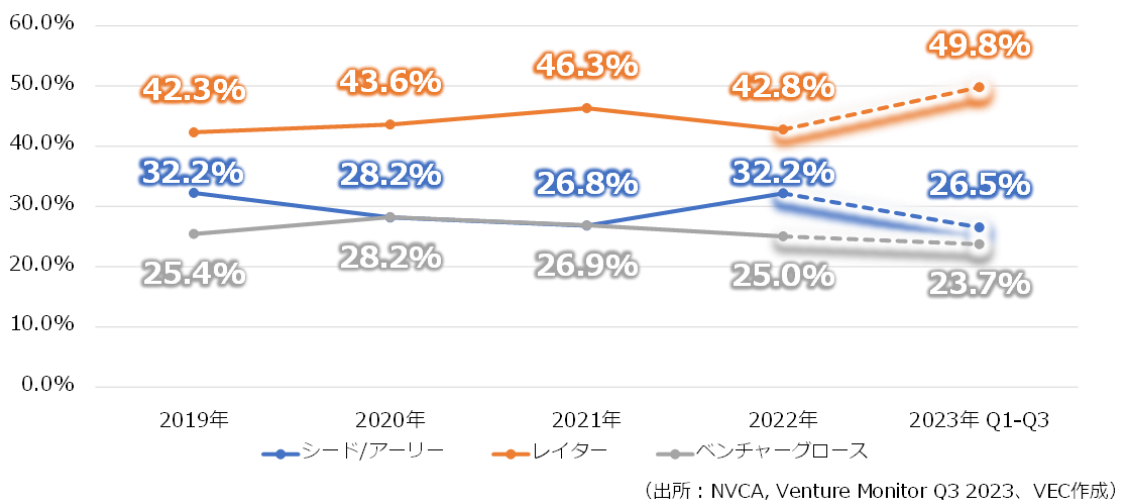
図 3 ステージ別投資金額の推移



(注) 年度ごとにステージ別投資金額を合計しても、図 1 の各年の投資金額とは一致しない。

ステージ別投資金額のシェアの推移をみると、2023 年 1～9 月にレイターのみ前年の 42.8%から 49.8%に伸びている（図 4）。前述の Amazon による 40 億ドルの大型投資を除いても 48.0%の水準である。

図 4 ステージ別投資金額シェアの推移



### (3) 非伝統的投資家（NTI）による投資：2021年から減少傾向が続く

2023年1～9月のVC総投資金額は1,259億ドルで、このうち非伝統的投資家（NTI）<sup>（注1）</sup>が関与した案件の投資金額<sup>（注2）</sup>は総投資金額の73.2%の922億ドルであるが、VC総投資金額に占めるNTI関与案件の投資金額の比率は2021年以降2年連続で低下しており、2019年以降でも最低の水準となっている（図5）。

（注1）非伝統的投資家（NTI）には、事業法人やCVCの他、PEファンド、パイアウトファンド、グロースファンド、メザニンファンド、ミューチュアルファンド、ヘッジファンド、クロスオーバー投資家などが含まれる

（注2）NTI関与案件の投資金額には、VCなど他の投資家の投資金額も含む

図5 非伝統的投資家（NTI）の関与投資案件の推移（金額・件数）

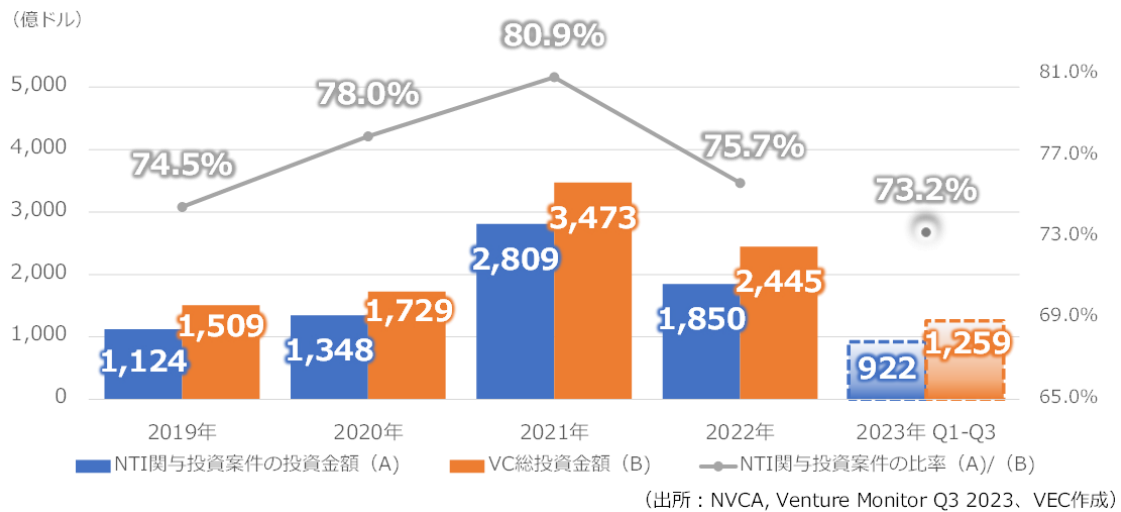


図5に示すように、2019年以降、NTIは巨額な財務的リターンを獲得を目的に、VC投資に大きく傾斜していったが、一転して2022年からは減少に転じている。この要因として、Venture Monitorは次の2点を挙げている。

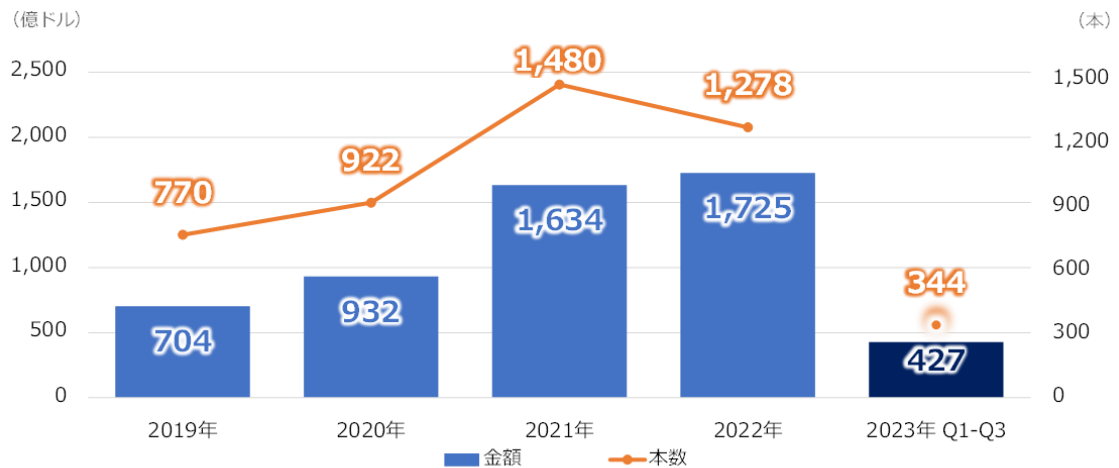
- ①2022年以降のExit環境の低迷
- ②金利上昇による債券など代替投資の魅力の増加

特に、クロスオーバー投資家のVCエコシステムからの撤退が顕著とのことである。

## 2 VCファンド組成：2023年は急落

2023年1～9月の米国におけるファンド組成の動きはきわめて低調で、組成額は427億ドルと、前年の通年組成額1,725億ドルとの対比で24.8%にしか達していない。組成本数も344本と、前年の1,278本との対比で26.9%にとどまっている（図6）。

図6 VCファンド組成の推移（金額・本数）



（出所：NVCA, Venture Monitor Q3 2023、VEC作成）

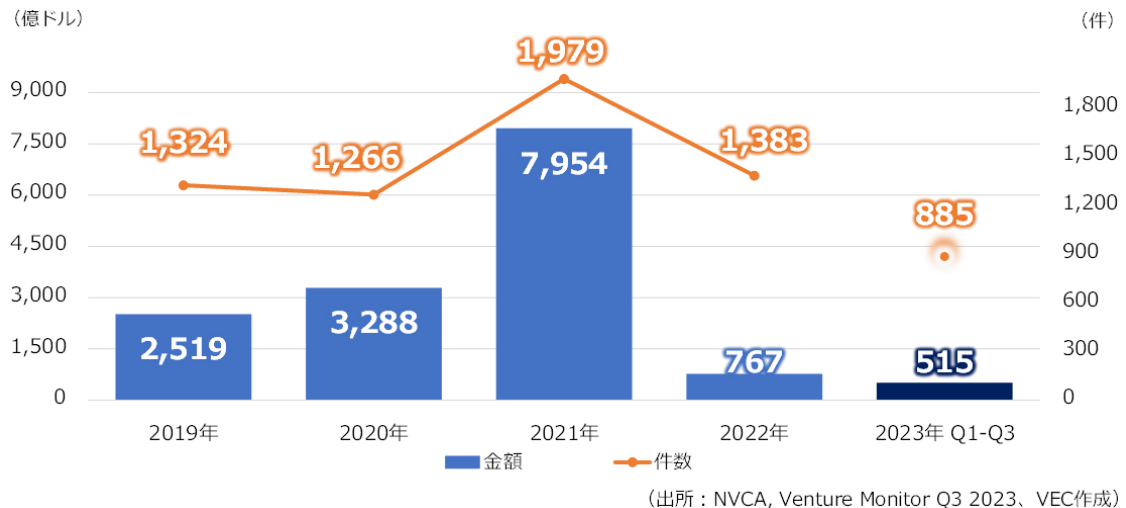
2023年に入ってファンド組成が停滞している要因として、Venture Monitor は下記の3点を挙げている。

- ①Exitへの道が開かれていないためLPの投資回収が減少したことにより、新しいファンドを組成しようとしても、LP投資家からかつてのように資金が集まらなくなってきたこと
- ②一部の機関投資家にとっては、金利上昇により、社債など相対的に低リスクの投資対象の魅力が増してきたこと
- ③多くの機関投資家がベンチャー企業への多額な投資計画に慎重になってきたこと

### 3 VC 出資先企業の Exit : 2022 年に引き続き低調

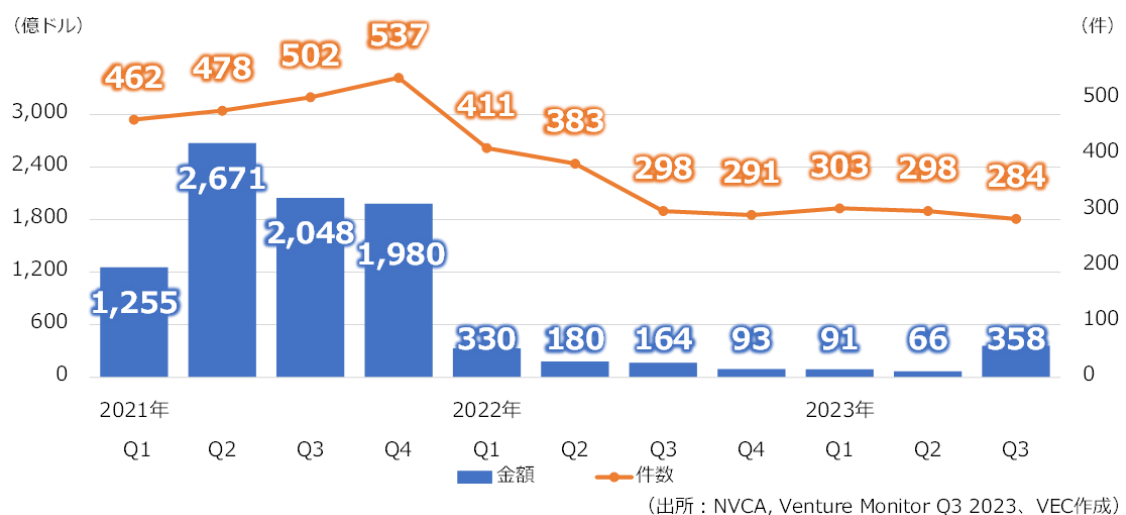
2023 年 1～9 月の VC 出資先企業の Exit 価額は 515 億ドルで、前年の 767 億ドル対比で 67.1%と、ラップの 75%をやや下回っている。Exit 件数は 885 件で、前年の 1,383 件と対比すると 64.0%と、Exit 金額と近似の水準にあるものの、いずれも既往ピークを記録した 2021 年とは様変わりの状態が続いている（図 7）。

図 7 VC 出資先企業の Exit の推移（金額・件数）



Exit の動向を四半期別にみると、2023 年 Q3（7～9 月）の Exit 金額は 358 億ドルと反発した。330 億ドルを記録した 2022 年 Q1（1～3 月）以降の 7 四半期間で、四半期ベースの最高値を記録している。ただし、件数については横並びである（図 8）。

図 8 VC 出資先企業の Exit 推移（四半期別：金額、件数）



Venture Monitor は、2023 年 Q3 に Exit 金額が反発した要因として、2 件の大型 IPO を挙げて、次のように説明している。

一つは食料品配達プラットフォームの Instacart 社、もう一つはマーケティング・データ自動化プロバイダーの Klaviyo 社である。両社とも、IPO 後の評価額が IPO 前の評価額から大きく下落したという面はあるものの、Exit 環境の回復を希求している VC 支援先のハイテクユニコーンにとっては、歓迎すべき兆候と前向きにとらえる向きもあるとのことで、2023 年 Q3 の反発が一時的なもので終わるのかどうか、今後の IPO マーケットの帰趨が注目されるところである。

以 上

# ベンチャー白書2023

新刊のお知らせ

2023年12月5日発刊

ご購入はこちら

電子版

●BASEショップ  
(<https://vec.base.ec>)

電子書籍

●Amazon Kindleストア  
●楽天 Koboストア

冊子版

●紀伊国屋・丸善等大手書店等  
●Amazon

VEC  
Venture Enterprise Center

ISSN 2189-0854

ベンチャー白書2023

ベンチャービジネスに関する年次報告

一般財団法人ベンチャーエンタープライズセンター



## - Contents -

### 分析編

- 第1章 日本のベンチャーキャピタルによる投資の動向
- 第2章 ベンチャー企業向けアンケート調査
- 第3章 大学発ベンチャー
- 第4章 海外のベンチャーキャピタルによる投資の動向
- 資料 政府・関連団体のベンチャー支援施策

### データ編

ベンチャーキャピタル投資動向調査



ベンチャー白書（ベンチャービジネスに関する年次報告書）は、我が国唯一のベンチャーキャピタルの投資状況等を分析・研究する調査報告書として政府の『スタートアップ育成5か年計画』を始め、数多くの報告書で引用されています。

- ✓ 20年以上継続している投資動向を図表で解説
- ✓ ベンチャー企業向けアンケート調査
- ✓ 大学発ベンチャーについて特集レポート
- ✓ 米国、欧州の投資動向を詳細に解説
- ✓ ベンチャーをめぐる省庁等の支援施策のご紹介 — 担当窓口一覧表

ベンチャー白書  
おすすめ  
ポイント

発行：一般財団法人ベンチャーエンタープライズセンター

■サイズ：A4・340ページ

■税込：5,500円（本体価格5,000円）

【お問合せ】

◆<https://www.vec.or.jp/contact>

◆03-3230-8902

ISBN 978-4-908965-16-6

ベンチャー白書



VEC  
Venture Enterprise Center